

滝山東照宮 岡崎市滝町山籠 117

滝山寺は、およそ 600 年代(奈良時代)、1300 年前に開かれた天台宗の古刹。源頼朝の鎌倉幕府、歴代の足利、そして徳川の恩恵を受け三河地方で重要な役割を担ってきた。

寺宝の聖観世音は頼朝の等身大で仏身に御髪と御齒が納められている。

境内の滝山東照宮は、三代将軍徳川家光の命により勧進されたもので、日光、久能山とともに日本三大東照宮のひとつとされています。徳川家の家紋が入った燈籠や、五代目将軍徳川綱吉が建てた鐘のお堂もあり、徳川家に崇敬されていたことがうかがえます(説明版など)。



説明版

扁額



東照宮

灯籠





綱吉建立の鐘楼